公明党 長谷部（はせべ） 竜作（りゅうさく） 議員

行財政改革（公共施設の利活用）

問 市内図書館の集約化に向けたスケジュールと、計画にかかるパブリックコメントを踏まえた今後の方針を伺います。

答 教育部長　令和9年度中に1館へ集約する計画案でしたが、パブリックコメントでは「性急である」や「図書館機能を補完するための具体策」を求める意見があったことから、再検討する方針です。

問 成東文化会館のぎくプラザとさんぶの森文化ホールの集約化検討について、これまでの経緯と今後の見通しを伺います。

答 教育部長　令和元年5月に社会教育委員会議へ諮問し、その後「将来的な統合を検討」との答申がありましたが、具体的には未定となっています。

問 さんぶの森文化ホールが、成東文化会館のぎくプラザへ集約され、空き施設になると仮定した場合の利活用方針を伺います。

答 総務部長　財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るため、公共施設等の維持管理、運営等を民間事業者と連携して行う、地域の実情に合わせた官民連携手法の導入について調査研究していきます。

問 利活用方針決定までの間、人員を配置し、図書の貸出し・返却が可能な「図書館サービスポイント」の設置を提案しますが、見解を伺います。

答 教育部長　図書館の運営経費の約8割を人件費が占めており、人員配置を要する運営の方法については慎重な検討が必要です。

問 人員の配置が可能であれば、簡易な遊具やクッションマットを備えた屋内遊戯場を設置し、猛暑や雨天時でも子ども達が安心して遊べる施設とすることができます。

　さらに地域性を活かし、木育の観点を取り入れた遊具や木のたまごプールを導入することで、子ども達が木のぬくもりに触れながら自然や環境への理解を深める機会となり、地域資源の循環や子育て世代の定住促進にもつながると考えますが、見解を伺います。

答 教育部長　屋内遊戯場には多様な設置形態が考えられますが、市が運営する場合は、保護者の見守りを前提に、費用を抑えた維持が可能であれば、検討したいと考えます。

公明党 深沢（ふかざわ） 誠（まこと） 議員

基金について

問 効率的かつ機動的な財政運営を実現するため、基金全体の再編や活用方針の明確化が必要と考えますが、見解を伺います。

答 財政課長　各基金には目的や使途がありますが、限りある資源を有効活用する観点から、対象事業の必要性や実現の可能性を検証し、適切に活用できるよう再編を含め検討していきます。

まちづくりについて

問 外国人住民の自治会活動への参加促進について、市の見解を伺います。

答 総務部長　市全体として区や自治会への加入率が低下する中、外国人住民の地域参画には関係性の構築が大切であるため、対等な関係を築き、共に暮らせる環境づくりに努めていきます。

問 松尾地域の過疎対策としては、地域主体の活動を支える仕組みの強化や、官民協働による実証的な取組が必要と考えますが、見解を伺います。

答 総合政策部長　実証的な取組事例として、松尾駅前駐車場跡地において、キッチンカー等によるイベントが開催され、にぎわいを見せていました。小規模ながら地域再生の可能性を確認しており、今後も官民連携や地域資源の活用を推進していきます。

子育て支援について

問 学童クラブの運営上の課題を伺います。

答 教育部長　①施設の老朽化②限られたスペースでの運営③配慮が必要な児童の増加④一部の高学年児童の利用制限が問題であり、その対応が課題です。

問 待機児童解消のため、相互援助型のファミリーサポートセンター事業を導入する考えはあるか伺います。

答 保健福祉部長　事業の実施には、提供会員の確保、送迎時の交通事故防止対策など課題が多く、現在のところ導入の予定はありません。

ファミリーサポートセンター事業とは？

子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）が、身近な地域の中で、子育ての相互援助を行う会員制の仕組み。各自治体が主体となって運営し、支援活動には有償ボランティアの形態がとられる。相互援助の例：保育施設や習い事の送迎、買物等の外出時の預かりなど

【その他の質問】▼水路及び市道の維持管理▼農業・商工業・観光の一体的振興